

ゼロカーボンシティ宣言を行ないました

地球温暖化による、世界規模での気候変動が深刻な問題となっています。

地球温暖化をこれ以上進行させないため、政府は2020年10月に2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指すと宣言し、北海道においても、脱炭素社会と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める、「ゼロカーボン北海道」の実現を目指しています。

これを受け赤平市においても、3月7日の令和5年第1回赤平市議会定例会において、2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組んでいくことを宣言しました。

ゼロカーボンシティとは

2050年までにCO₂(二酸化炭素)の排出を実質ゼロにすると表明した自治体のことです。



「ゼロカーボンシティ宣言書」を掲げる赤平市市長

※宣言書の全文は市ホームページをご覧ください



問合せ

生活環境交通係
☎ 32-2215

マスク着用は個人の判断で！

令和5年3月13日(月)よりマスクの着脱は個人の判断で行なうこととなりました。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることが無いよう、個人の判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします。

着用が効果的な場面

- 病院や高齢者施設などに行くとき
- 混雑した乗り物を利用するとき
- かぜ症状がある方や、新型コロナウイルス感染症の検査で、自身や同居する家族が陽性となった方が、やむを得ず外出するとき

※詳しくは左記のホームページをご覧ください

【北海道】

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kst/masuku.html>



【厚生労働省】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html



問合せ

健康づくり推進係 ☎ 32-5665

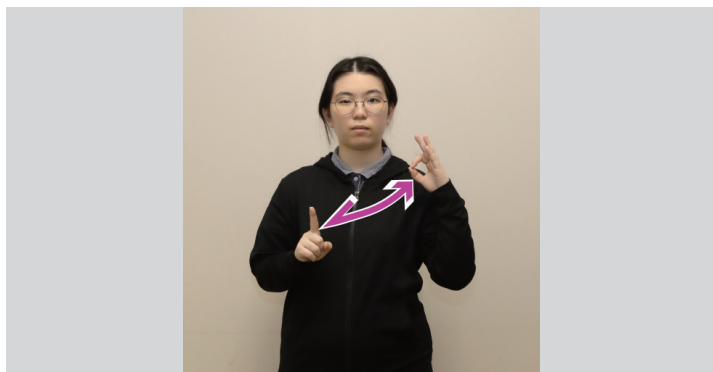
手話にチャレンジ



第69回

「野球」

手話モデル 福井 瑞季 さん
(赤平手話の会)



左手2指の輪(球)を右手人差し指(バット)で打つ

新年度になりましたのでおわらごち。

ごみ回収の基本ルール



問合せ
生活環境交通係 ☎ 32 2215

ごみ分別とごみ袋の色

- 燃やせるごみ(ピンク色)
 - 燃やせないごみ(青色)
 - 生ゴミ(茶色)
 - ビン(緑色)
 - カン(黄色)
 - ペットボトル(オレンジ色)
 - 特定品目(指定なし、透明か半透明の袋)
 - 粗大ごみ(処理券)
- ※詳しい分別方法については、市ホームページをご確認ください。



ごみ出しは必ず朝8時まで

ごみの収集時間や順番は、道路事情などで変わる可能性がありますので、必ず朝8時までにお願いいたします。

ガス缶は特定品目です

ヘアスプレーの缶やカセットボンベは特定品目です。必ず穴を開け、ガス抜きをしてから出してください。

ごみ袋は適正容量で出しませう

袋が破けていたり、袋の口が開いている状態のものは回収できません。口が閉じていても袋が破けるような重さのものも同様に回収できません。ごみ袋の縛り方については左記を参考にしてください。

① 結ぶ



② 持ち手を結ぶ



③ 出来上がり!



ヘルプマーク・ヘルプカードの配布

ヘルプマークとは?

援助や配慮を必要としていることが外見からは伝わりにくい方が、「ヘルプマーク」を持つことで周囲の方からの援助や配慮を受けやすくするものです。

「ヘルプマーク」を身に付けた方を見かけたときは、電車・バスなどで席をゆずる、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。



配布対象者

外見からはわかりにくい障がいのある方や難病の方、妊娠初期の方など

ヘルプマークを希望する方は市役所地域福祉係へお申し込みください。

ヘルプカードとは?

援助や配慮を必要としている方のなかには、自分から「困った」となかなか伝えられない方がいます。

障がいのある方が困ったときに助けを求めるときの「手助けが必要の人」と「手助けできる人」を結びカードです。

ヘルプカードは窓口での配布のほか、北海道のホームページにも様式を掲載していますので、ご自身で印刷してご利用ください。

災害や緊急時には、カードに記載された内容の手助けなどの配慮をお願いします。



問合せ

地域福祉係
☎ 32 2216